

「もっと本を読みたい」



私たち1982年に活動を始めた当時、ラオスの首都ヴィエンチャンには国立図書館と国営書店があるだけでした。子どもたちの多くは教科書以外の本に触れる機会はありません。こうした状況は、今もほとんど変わりません。

以前出会った縫製の職業訓練を受ける若い女性を思い出します。彼女は教わったことをノートに書き留めることができませんでした。小学校で習った読み書きを忘れてしまっていたのです。生活を少しでも良くするため新しい知識や技術を身につけたいと思っても、文字の読み書きができないと機会を十分に活かすことができません。

私たちは、ラオス語の本の出版を応援し、学校図書室の開設をお手伝いして、ラオスの子どもたちが本と出会い、読書を通して世界を広げ、自分を豊かに表現する力を持って欲しいと願いつつ、読書推進活動を行っています。現在、ラオスの子どもたちにさらに絵本を贈ろうと、「書き損じハガキや未使用切手」を集めています。

ラオスの子どもたちの成長のため、ご家庭などにある書き損じハガキや未使用切手をお送りいただけませんか？

(認定) 特定非営利活動法人ラオスのこども
代表 チャンタソン インタヴォン

書き損じハガキや 未使用切手を集めて、 ラオスの子どもたちに 絵本を贈りませんか？



2023年2月まで

書き損じハガキで 絵本を贈るしくみ



書き損じハガキや未使用切手を集め、当会宛にお送りください。枚数が多い場合、金額ごとにまとめていただけると助かります。

お送りいただいたハガキや切手を、当会が郵便局や金券ショップ等で交換し、現金化します。

その現金を、当会が実施するラオスの学校図書室開設支援事業の資金として用います。

□ 9,000枚※ のハガキを集めると約50万円になり、ラオスで人気の高い「ドデカあたまのおばけ」を3000部出版できます。

何枚からでも受け付けています。所属するグループやサークル、会社などで呼びかけて、仲間と一緒に集めてみませんか？
個人でもぜひご参加ください。

※ 63円ハガキの例

- 郵便ハガキ・郵便局年賀ハガキで未投函のものに限ります。
- 古いハガキや往復はがきも受け付けています。
- 年賀や暑中見舞いのクジ番号部分は切り取らないでください。
- 未使用の切手でもかまいません。

ラオス語図書出版活動



本が余りないラオスで、就学前の子どもたちのための絵本から、昔話、創作物語、歴史の本、授業の手引き、辞書、翻訳本まで、ラオスの文化を伝える本、オリジナリティの高い本など、質がある本の出版に取り組んでいます。

これまでに 230タイトル 93万冊を出版しました。

「ドデカあたまのおばけ」 アンパントーン・ベップンポーン作



ラオスでは、あらゆるところに宿り人々の生活を守る精霊は、ビーと呼ばれます。失礼な行いに対しては不幸、病気、災害などをもたらすといわれ大切にされてきました。

今回出版を目指すのは子どもたちが大好きなお話。夜更かししている子を食べてしまうビーのちょっぴり怖くてユーモラスな、ラオス人若手作家による切り絵の絵本です。

お問い合わせ
(認定)特定非営利活動法人ラオスのこども
担当：赤井

〒143-0025 東京都大田区南馬込 6-29-12, 303
Tel/Fax: 03-3755-1603 Mobile: 090-9641-7027
Email: alctk@deknoylao.net HP: <http://www.deknoylao.net/>
Facebook: <https://www.facebook.com/deknoylao>

詳しくは
こちらから →



202211